

# 北海道身体障害者新聞

発行人 (社)北海道身体障害者福祉協会 会長 赤坂勝  
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2-7)  
電話 011-251-1551  
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp  
北海道障害者社会参加推進センター  
電話 011-251-9302  
毎月 25日発行  
会員購読料(年) 360円  
非会員 同 2,000円

## 平成二十年度要約筆記奉仕員養成講座終る 〜三十一名の受講者が晴れて修了〜

社団法人北海道身体障害者福祉協会が北海道から委託を受けて、昨年八月二十四日から札幌市内の道民活動センターで開催していた「平成二十年度要約筆記奉仕員養成講座」が、十二月二十一日に延べ十二日間・五十二時間の全日程を終了した。二十四名の受講生でスタートし、中途辞退者など三名を除く三十一名に修了証書が交付された。

講座最終日の十二月二十一日は「実技・現場実習」が行われ、午前中は(株)なごみの食卓社長坂下美樹氏の「食を通じて生き方を学ぶ」と題した講演の内容を、全員がOHPを使い実習した。



OHP(オーバーヘッド・プロジェクター)を使って現場実習

午後からは、「聞こえない立場からの検証」読み手の評価を受ける」のテーマに沿って、要約筆記通訳ボランティアの会「はまなす」講師による最後の講座が行われ、続いて自己評価として、受講者全員から講座修了の感想や今後の抱負等が発表された。発表の一部は次のとおり。「要約筆記は奥深く容易でないことに気付いた。自分なりの目標に三原則を忘れないと決めたが毎回難しく大変だったが、先生の励ましで今日まで出



ひとり一人に修了証書が授与された

来た。中途難聴の方々のお話で改めて要約筆記の重要性を感じた。皆と共に勉強できたことは大きな喜びであり先生方の熱心な指導に感謝する。」「講座が修了したといってもまだまだ勉強を重ねなければ、中途難聴の方達の情報保障には程遠いので、今後も地域のサークルに加えて先輩の指導を受けながら技術を磨くとともに、地域の人にも要約筆記のことを伝えていきたい。」「障害者への姿勢が変わった。雪の日に白杖の人を見かけごく自然に手を差し伸べて市役所までお連れしたが、この講座で学んだお陰と思う。今後障害者の方々に何らかのお手伝いができるよう心掛けたい」等々。

北海道身体障害者福祉協会和田真一常務理事から挨拶があり、欠席者を除く二十名の修了者ひとり一人に修了証書が授与された。また北海道中途難聴者協会中西昭夫会長から、「講座を修了された皆様は心からお喜び申し上げます。八月から十二回、五十二時間にわたり基礎等を一生涯懸命に学ばれた皆様には頭が下がる。要約筆記者派遣事業は市町村事業になったがまだ実施していない市町村もあるのでは、地域に戻られて活躍されることを祈るとともに、障害者の力強い味方になってほしい」と祝辞があった。最後に「はまなす」山靖子代表から「中途難聴者を理解の上しっかり勉強を続け、要約筆記奉仕員として活躍してほしい」と激励の言葉がかけられた。

養成講座を修了し、要約筆記奉仕員として北海道身体障害者福祉協会に登録された皆さんは次のとおり。

- 小田恵子(江別市)、金子正子(金子幸代(以上恵庭市))、藤原正恵(北広島市)、土谷美穂(石狩市)、飯田美恵(夕張市)、田野中葉子・生出八重子(以上岩見沢市)、鈴木信子(旭川市)、高橋律子(士別市)、谷垣久美子・星野喜代子・大橋美恵子・竹村無津子・高橋郁子・石寺充枝・寺島玲子(以上苫小牧市)、志水昌子・工藤恵美子・廣瀬淑子(以上登別市)、羽澤大地(札幌市)



晴れて講座を修了された皆さん

なお登録者の名簿は、各修了者居住地の市役所や身体障害者福祉協会、北海道中途難聴者協会等の関係機関・団体あて報告された。地域での活躍が期待されている。

## 「第2期障がい福祉計画意見交換会」に参加しませんか!

北海道では、第2期北海道障がい福祉計画(H21~23年度)の策定に向け、地域における支援の実現に向けた課題や取り組みなどについて、広く意見を聴取し計画作成に反映させることを目的として、次のとおり意見交換会を開催する。

### ○開催日時及び場所

- 2月11日(水)〔道央会場〕札幌エルプラザ
  - 15日(日)〔道南会場〕北斗市総合文化センター
  - 21日(土)〔道北会場〕旭川市ときわ市民ホール
  - 22日(日)〔道東会場〕釧路市生涯学習センター
- ※開始時刻はいずれも午後1時から

### ○対象者 当事者・家族、障がい者福祉関係者等

### ○開催内容(予定:シンポジウム形式)

- テーマ 「北海道の障がい者施策をどう進めるか」
- \*第2期北海道障がい福祉計画案~障害者保健福祉課
- \*地域生活支援・就労支援~地域の取組み
- \*共生型事業の取組み~市町村の取組み
- \*当事者の生活
- \*意見交換

### ○参加申込先

開催地の各支庁保健福祉事務所保健福祉部社会福祉課  
※道央会場については道本庁(下記問合せ先)

### ○問合せ先

北海道保健福祉部福祉局障害者保健福祉課  
電話 011-231-4111(内)25-712 FAX 011-232-4068

## 小規模作業所 緊急支援事業補助金

平成二十年度は七か所に助成

平成十八年度から実施されている障害者自立支援法円滑施行特別対策の一環の小規模作業所緊急支援事業補助金が、昨年十二月末に対象先の各小規模作業所に交付された。

これは、国の障害者自立支援対策臨時特例交付金に基づき、北海道が造成した六十六億円の基金から、「平成二十年度障害者自立支援対策推進事業実施要綱」等に基づき、道内障害者四団体を通じて、対象となる小規模作業所に、一か所当り百十万円を助成するもの。

北海道身体障害者福祉協会が助成した小規模作業所は次の七か所。

地域活動支援センターふたば、地域共同作業所とんとん、地域共同作業所ふれあい、地域共同作業所夢、地域共同作業所ハートモニー(以上旭川市)、はあと地域共同作業所(北斗市)、虹の光ひつじ工房(釧路市)。

## 社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所  
代表取締役 関 守  
札幌市中央区南三条西六丁目  
電話代表(011)241-0986

札幌義肢製作所旭川支店  
支店長 舛田裕司  
旭川市五条通十二丁目  
電話(0166)241-5333

有限会社 野坂義肢製作所  
札幌市中央区南三条東四丁目  
電話(011)221-1406

有限会社 河笠義肢製作所  
小樽市長橋四丁目七番二十九号  
電話(0134)221-3042  
(0134)317-0026

株式会社 馬場義肢製作所  
函館市豊川町一五〇一  
電話(0138)321-2656  
札幌市北區太平七条二丁目  
電話(011)741-1303  
室蘭市母恋北町一の三〇六  
電話(0143)321-5599  
釧路市富士見一の五の九  
電話(0154)411-5466

株式会社 田村義肢製作所  
札幌市中央区北四條東五丁目  
電話(011)201-2777  
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地  
電話(0155)271-2489

有限会社 三愛義肢製作所  
岩見沢市志文町九二三番地二六  
電話(0122)221-6643  
帯広営業所 帯広市大川町三〇番地一  
電話(0155)241-2577

株式会社 協和義肢製作所  
岩見沢市三条西八丁目 電話(0126)321-3739  
旭川市十條通り九丁目 電話(0166)241-3346  
転送電話 321-1865

有限会社 美唄義肢製作所  
代表取締役 松田清勝  
美唄市東七条北四丁目七番九号  
電話(0126)621-0931

有限会社 千葉義肢製作所  
釧路市若草町七番二号  
電話(0154)221-3811  
FAX(0154)251-9588

「ご協力を!」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

# 障害者支援の拡充

## 厚生労働省の二十年度補正予算案

厚生労働省は生活防衛のための緊急対策関係予算として、総額八、九八六億円の平成二十年度第二次補正予算案を計上し、一月五日に召集された今通常国会に提出した。

障害者保健福祉関係は次のとおり。

### 【障害者支援の拡充】

一 障害者自立支援法の円滑施行 八六九億円  
八五五億円  
平成二十年度までの障害者自立支援対策臨時特例交付金に基づく基金事業を、平成二十一年度以降も延長するため、基金の積み増しを行い、事業所の支援、新法への移行支援等を行う。

○福祉・介護人材の育成・定着の促進(二百五億円(内数))

### 二 障害者雇用対策の推進

中小企業における障害者の雇用を促進するため、初めて障害者を雇用した中小企業に対する奨励金(百万円)を創設する。また、今般の景気後退等により解雇・勧奨退職等を余儀なくされた障害者等を新たに雇用して、特例子会社等を設立した事業主に対する助成金(十人以上の雇用で二千万円支給等)を創設する。(制度要求)

# 利用者負担軽減措置の継続

## 障害者自立支援法施行後三年の見直しに向けて、審議を続ける

障害者自立支援法施行後三年の見直しに向けて、審議を続けていた社会保障審議会障害者部会の報告書が、昨年十二月十五日にまとまった。この報告書を基に厚生労働省は法律の改正案を国会に提出する予定。

報告の概要は次のとおり

- 利用者負担については、定率制度は変えないが、現行の軽減措置は今後も継続する。
- 補装具の自己負担と福祉サービスとの自己負担を、合算して軽減する制度を検討する。
- 所得保障については、年金や手当など現行制度の着実な実施とし、障害年金の引き上げや住宅費への対応は検討を進める。
- 障害者の範囲に、発達障害と高次脳機能障害も対象とする。
- 障害程度区分については、障

### 【盲ろう者通訳介助員】養成講習会の開催案内

目的 視覚と聴覚の両方に障害のある方に対する初歩的なコミュニケーション方法を学ぶため。

日時 三月十日(火)～十二日(木) 各日 午後一時～四時

場所 道民活動センター 札幌市中央区北二西七

定員 二十名(二十歳以上)

参加費 無料(旅費は自己負担)

問合せ及び申込先 北海道盲ろう者支援協会 電話・FAX 〇一一六三三四四五〇

# 盲導犬宿泊体験セミナー案内

目的 盲導犬との歩行や生活を実際に体験し、盲導犬についての知識を深めるため。

日時 三月二十一日(土)午後一時～二十二日(日)午後二時

会場 (財)北海道盲導犬協会 札幌市南区南三〇西八

対象 視覚障害者(十五歳以上)

募集人数 七名

参加費 二、五〇〇円

セミナー内容

- ・盲導犬との体験歩行(指導員と共に札幌市内を歩行する。)
- ・盲導犬の管理体験(食事、排泄、手入れ等盲導犬の日常の世話をする。)
- ・交流会(参加者や現ユーザーとの交流)

申込先 (財)北海道盲導犬協会 電話 〇一一五八二二八二二二 (十二月三十一日付)

退職 書記 矢倉真喜子

# 町村協会だより④(十勝支庁管内足寄町) 母子寡婦会と合同で事業を展開

第四十四回目として紹介します協会は、町村としては日本一広い面積の千四百八平方キロメートルを擁し、豊かな森林資源と四季折々の風景を彩りよく湖面に映し出す神秘的な湖「オンネトー」、巨大なラワンブキ、国内最大級の動物化石博物館など有名な足寄町身体障害者福祉協会(近藤午郎会長)です。同協会は昭和二十六年四月に設立、



十勝地区スポーツ大会に参加

開催と記念誌発行を行いました。当時は百七十五名の会員を擁していましたが、現在は五十五名となっております。役員及び執行体制は、近藤会長をトップに副会長三名、理事七名、監事二名、地区連絡員若干名となっております。



レクリエーション交流会

開催と記念誌発行を行いました。当時は百七十五名の会員を擁していましたが、現在は五十五名となっております。役員及び執行体制は、近藤会長をトップに副会長三名、理事七名、監事二名、地区連絡員若干名となっております。



厚生旅行(母子寡婦会合同)

赤い羽根街頭募金協力  
各種研修会等参加  
足寄町身体障害者福祉協会PR  
同協会は、親睦を図ることを主として活動していき、高年齢化及び減少もあり、前年度より母子寡婦会と合同で事業を展開しています。



赤い羽根街頭募金に協力

# 文芸

## 短歌

由仁町 中嶋つぎ子  
ななかまど未実は露に濡れつつ  
光りてありぬ霜柱立つ

釧路市 松橋 幸子  
何時迄も頼られる母でありたしと  
子や孫に贈る飯寿司漬け込む

函館市 上鶴瀬勝子  
鈴色の空に見えかくる黒き鳥  
吾も飛びたし点となるまで

## 俳句

恵庭市 西島 明  
雪晴れのバスを乗り継ぎ病む妻へ  
初日の出父の齢を一つ越え

釧路市 松橋 幸子  
店先に葉牡丹飾り菓子を売る

川柳

芦別市 戸原 寿夫  
悪世相政治にかけの民の夢  
川柳に老いにムチ打ちペンを持つ

石狩市 田中 五郎  
宅配は荷主を聞いてから開ける  
お正月いつもの餌でよいペット

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

社会福祉法人 北海道リハビリ

身体障害者施設 リハビリ・エイト

身体障害者授産施設 リハビリ・クリーナース

障害福祉サービス事業所 リハビリ・おおぞら

身体障害者授産施設 札幌ワークセンター

地域活動支援センター ポールス

障害福祉サービス事業所 セルブさっぽろ (ウエルプラザやまはな)

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください  
法人事務所 北広島市西の里507番地1  
TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビルF

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中島町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282

本社 岩崎電子株式会社  
札幌市中央区南2条西3丁目東南カド

NISSIN 株式会社

ニッシン自動車工業

北海道支店

岩見沢市志文町九二二二二  
電話 〇一一二六 二二二二 〇八〇五番

リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣  
介護保険に関するお問い合わせ、お申し込みは

HOP ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階  
TEL 〇一一二二 七四八二二〇  
FAX 〇一一二二 七四八二二二

クリーニングは光生舎  
光生舎 クリーナース  
光生舎 ワークショップ  
光生舎 エルム・ライジング  
光生舎 ライト・スラザ  
光生舎 メディック・エル  
光生舎 クリーン・セブン  
光生舎 スラザイン・サッポロ  
光生舎 虹の星  
光生舎 虹の星サービスセンター  
光生舎 フーレビル  
ケアハウス すいこう

○施設の利用を希望される方は  
お気軽にご相談下さい。

連絡先 (社)北海道光生舎  
電話 0125-32-3221  
電 厚生部

リフト付貸切バス  
ハートケア福祉タクシー(ストレッチャー対応)

株式会社 ライフパス

札幌市北区篠路一条八丁目六番三〇号  
電話 〇一一二 七七二一四七  
FAX 〇一一二 七七二一九五

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八  
電話代表 〇一一二六 二二二二 一五五〇番